



12月4日(土)、国際交流センターで、「Real You 自分らしく生きるために」をテーマに男女共同参画フォーラムが開催されました。ゴスペル歌手文屋範奈さんのすてきな歌声を交じえての講演や、育児も積極的に行う男性「イク(育)メン」をテーマにしたパネルディスカッションも行われました。

仕事と生活の調和を目指して



12月3日(金)、市役所本庁で、岩切秀雄市長立ち会いの下、済生会川内病院と九州電力(株)が「電離放射線による汚染傷病者の受け入れに関する契約」の調印を行いました。この契約は、川内原子力発電所内での放射性物質汚染の可能性のある傷病者の受け入れについて、同病院との役割分担などを定めたものです。

緊急被ばく医療体制の整備・充実に向けて



11月30日(火)、市役所本庁で、岩切秀雄市長が原口博文氏へ厚生労働大臣表彰の伝達を行いました。この賞は、昭和49年からの長きにわたり、隣保館事業の運営や、老朽化した同館の改修などに尽力された原口氏の功績に対して贈られたものです。

35年以上にわたり隣保館事業に従事



平成22年12月5日撮影

市内各地から

まちの話題

心安らぐふるさとの地を手づくりのウサギが温かく見守っています。(都町・国道3号沿い)



11月27日(土)・28日(日)、樋脇町内の各会場で第7回市比野温泉よさこい祭りが開催されました。祭りには九州各地、遠くは島根県から全68チームが参加。鮮やかな衣装を身にまとった踊り子たちが華麗な踊りを繰り広げ、会場に訪れた多くの観客は食い入るように見物していました。

華麗な踊りで観客を魅了 市比野温泉よさこい祭り



12月4日(土)、江石地区で恵比寿祭りが開催されました。この祭りは、一年間の豊漁と地域の活性化を目的に行われているもの。当日は天候にも恵まれ、午前中に祭事、午後から漁船パレードやもち投げなどが行われました。地区外からも多くの参加者があり、楽しい一日となりました。

豊漁と地域の活性化を願って 恵比寿祭り開催



12月5日(日)、藤川小学校130周年記念式典が、多数の来賓や卒業生らが出席し盛大に行われました。また、式典後には学習発表会も行われ、児童全員による太鼓演技や先生・保護者らによる合唱や演劇など、さまざまな演目が披露されました。

130年の歴史を祝い 記念式典&学習発表会開催



12月3日(金)、樋脇女性団体連絡協議会から手作りの竹ぼうきとぞうきが樋脇地域の小・中学校へ寄贈されました。寄贈を受けた樋脇小学校の児童たちは「これらを使い学校をきれいにします」とお礼の言葉を述べていました。

竹ぼうきとぞうきんできれいな学校に



11月16日(火)、入来文化ホールで入来・祁答院地域の全小・中学校が参加して仲よし音楽会が開催。合唱や合奏だけでなく、地域の伝統芸能やラテン調の合唱なども披露され、観覧者からは「小学校と中学校の両方の演奏が聴けてよかった」と好評でした。

日ごろの練習の成果を十分に発揮しました



11月26日(金)、蘭牟田池県立自然公園で鹿児島県室内装飾組合川薩支部による清掃ボランティア活動が実施されました。高圧洗浄機などを使用し、同公園内の公衆トイレや歩道、アクアタイムなどを大変きれいにさせていただきました。

清掃ボランティア活動で公園内がきれいになりました



12月10日(金)、朝陽小学校の児童が、サトイモ堀りを体験しました。これは同校で30年来続く三世代交流行事として行われたもの。ほとんどの児童がサトイモ堀りは初体験でしたが、人の顔ほどの大きさに成長したサトイモを、泥んこになりながら収穫しました。

サトイモがいっぱい掘れたよ



12月2日(木)、国際協力を担う人材の育成を目的に行われるスタディツアー参加者が市役所を表敬訪問しました。同ツアーはラオス人民民主共和国で学校保健援助を行っているNPO法人「じゃっど」が主催するもの。本市からは川内高等学校2年生のなかぞのかずき、おおさこあかね、いしがみの中国寿紀さん、大迫茜さん、石神よし乃さんが参加します。

ラオスの現状を肌で感じてきます

